

〈うつす〉テーマに 「糸はなが」

「オープンスタジオ」では、いろいろな〈素材〉と〈技法〉（道具など）との関係を、わかりやすく体験的に学んでいきます。

〈うつす〉をキーワードにして、紙版画、木版画、ステンシル、シルクスクリーンなど、“うつしとる”もの——〈版画〉をプログラム化しました。そのなかから、だれにでも簡単に体験できる「糸はなが」を紹介します。



〈版画〉のおもしろさを体験

小さな子どもは、スタンプ遊びが大好きです。スタンプを持たせれば、紙だけでなく壁や家具など、どこにでもパンパンと押印してしまいます。

スタンプというのは、造形的な見方をすると、〈版画〉の技法が用いられています。〈版画〉の版を自分の手で作るとなると、材料をそろえたり、さまざまな技術などが必要になります。制作するには、大変な労力や経験が必要です。

「糸はなが」は、どこの家庭にもあるものを使っています。梱包材料の段ボール、クラフトテープ、たこ糸などを用い、小さい子どもでも簡単に制作でき、楽しめる〈版画〉です。

〈版画〉のおもしろさは、版を作ることより、でき上がった版を使って刷ることです。この「糸はなが」は、刷るのではなく、スタンプのように紙に押し付けるのものです。糸にインクがしみ込んでいって線の太さが変化したり、糸をはり付けているクラフトテープにインクが付着して、思いもしない模様がプリントされるなど、とても不思議な画面を作り出します。

〈版画〉は、“版作り”と“刷り”の2つの工程に大きく分けることができます。さまざまな〈版画〉の技法があり、使用する素材も紙、木、ウレタン、金属など、さまざまです。使用する道具も、はさみから始まり、彫刻刀、ニードル、バレンやプレス機などがあり、素材と道具の準備だけでも大変な作業と予算になります。

〈版画〉の楽しみは、版を作ることだけではありません。作った版で何度でも、同じものを刷り増すことができることです。私たちは、本や美術館などで見る作品から、子どもたちにも同じような技法を体験させなければならないと思いがちです。しかし、視点を変えると、遊びのなかにも、版画の技法は使われていることがわかります。

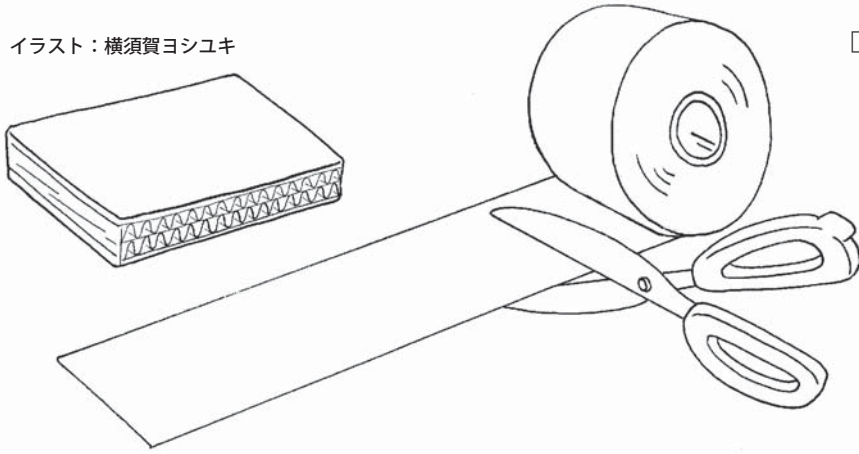
硬貨に紙を当て、鉛筆などを使って「こすりだし」を

した経験は多いと思います。硬貨が“版”で、鉛筆と紙が“刷る道具”になります。スタンプ遊びは、低年齢の子どもでも何度でも何度も繰り返し遊びます。

「糸はなが」には、もう一つ重要なポイントがあります。版作りの接着方法です。クラフトテープも、梱包のためだけに使っているわけではありません。セーターの毛玉とり、割れたガラスの小さな破片を掃除するときなどに、接着面を使うことがあります。とった毛玉やガラスの破片は、クラフトテープの接着面に“版”と同じような凹凸を作ります。“版”として使えるかもしれないのです。

クラフトテープを使った「糸はなが」は、日常のなかで私たちが使っているもの、ことがらから発想されました。みなさんも、新しい発見にチャレンジしてください。

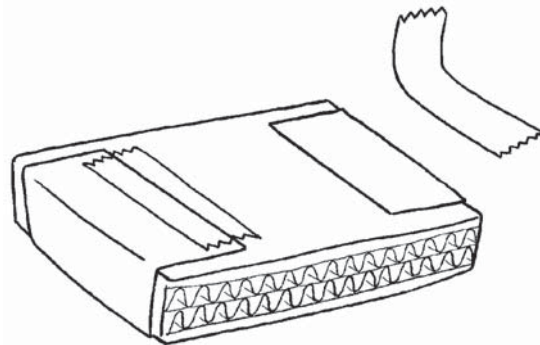
イラスト：横須賀ヨシユキ



□作り方□

①厚手の段ボール（5×8cm）にクラフトテープ（5×10cm）を準備します。

②クラフトテープの粘着面を外側にして段ボールを巻き込むようにくるみ両端をクラフトテープで固定します。
セロハンテープでもかまいません。



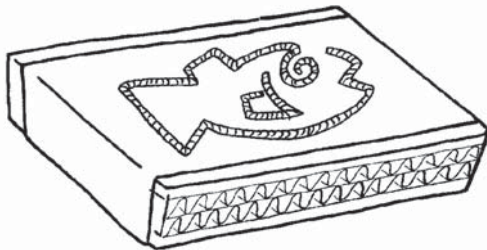
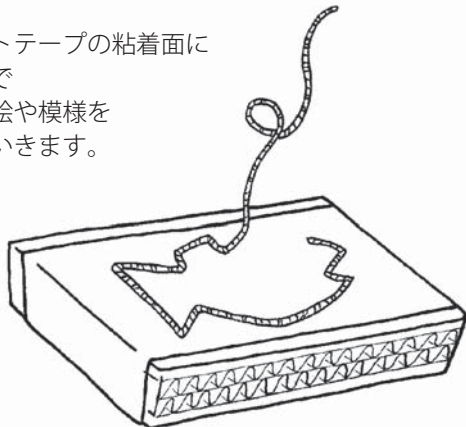
□「糸はなが」作りで使う道具□

- ①はさみ
- ②スタンプインク台

□「糸はなが」の材料□

- ①段ボール（5×8cm、2～3層の厚さ）
1層の段ボールしかない場合は、2枚重ねて木工用ボンドで接着して使用。
- ②たこ糸（4～6号くらい）
- ③クラフトテープ
- ④ラシャ紙（はがきサイズくらい、白）
版の大きさよりも2回りくらい大きな紙にプリントすると、空間にゆとりができて良く見えます。

③クラフトテープの粘着面にたこ糸で好きな絵や模様をつけていきます。



④版が完成したら

スタンプインク台に版をよく押し付けてインクをなじませてから紙に転写します。何枚も刷っていくうちに、台紙のクラフトテープに付いたインクがとてもおもしろい効果を見せるようになります。



※厚めの段ボールを使うのは、①子どもが持ちやすくすること、②スタンプするときクッションとなって、紙面にしっかりと力が伝わることの2つ。

※たこ糸は、クラフトテープの粘着面に、何度でもはがしたり、はりつけることができるので、失敗を恐れずにチャレンジできます。布ガムテープは粘着力が強すぎます。

※たこ糸の太さを変えたり、スタンプする紙を版画用の紙や和紙などにすると、表現の幅も広がります。

※少し厚い紙（段ボールでも良い）で、額を作るとさらに素敵になります。